

会員のひろば

■ いい年号「令和」も頑張りたい

舟 谷 照雅

日頃はたいへんお世話になり、ありがとうございます。

退職して少しのんびりしようと思っていましたが、これといった趣味もなく毎日暇をもてあましていたある日、広報誌『華創』でシルバー人材センターの入会の説明会を知り、会員登録をさせていただきました。センターでの就業はそんなにならなと思っていたので、腰掛程度のもりでいたのですが、依頼を受けたものをこなしているうちに、気がつけば13年を過ぎようとしています。多くの人と出会い、学び、加えてアドバイスをいただいたりサポートしていただきました。

また、夏季の除草作業はハードできついで、何度も熱中症になりそうになりました。

センターでは毎年熱中症対策として、「水分補給や適度の休憩をとって作業をしてください」と言ってくれています。

平成は災害の発生が多い年号でした。阪神淡路大震災、東日本大震災、広島土砂災害と、日本各地で多くの想定外の災害が発生しました。今も多くの人が仮設住宅で暮らしているとの報道がされていますが、被災された方の心中お察しします。

私たちの精華町でも昨年の台風21号の強風で、家屋の被害、ビニールハウスや波板などを飛ばされたりしました。

新しく始まった「令和」は、来年の東京オリンピック、5年後の大阪万博と明るい話題もありますので、いい年号になるように願っています。

私ももう少し頑張りたいと思っていますので、よろしくお願いします。



■ 私にとっての「一期一会」

舟 山口芳明

「一期一会」、これは私の好きな言葉です。シルバー人材センターに入会して、この「一期一会」という言葉の意味そのものをひしひしと感じています。

入会してからはいろんな方と仕事をするようになり、友達がたくさんできました。また事務所で会って挨拶はもちろん、冗談を言いあったり近況報告をしあったりして、とても楽しく仕事をしています。仕事柄いろんな町に住んできましたが、精華町が一番住みよい町だと感じています。

シルバーでの仕事は定年前とは全然違います。でも、若いころからモノ作りや農業の仕事が好きでしたので、そのことがシルバー人材センターでの仕事に役立っています。発注者の方との世間話や仕事のことで話をしながら親しくなり、「ありがとう」という言葉を聞くと、ほんとうにシルバー人材センターで仕事をしてよかったと思います。

これからも、シルバー人材センターで働ける間は会員の皆さんの力を借りて働いていきたいと思っています。どうぞよろしくお願いします。

